

令和3年度 事業計画

公益社団法人 鉄道貨物協会

令和2年度の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により社会・経済活動が大きく影響を受け、民間調査機関からは実質経済成長率でリーマンショック時を超える5.3%減の落ち込みとなる予測も出ている。

令和3年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に注意を払いつつ経済活動が行われる中、昨年末より一部欧米諸国で接種が開始されたワクチンの効果が期待されるものの、普及（頒布）等の課題から景気の回復は緩やかなものに留まると見込まれている。

このような中、運輸部門においては、政府より新たな政策目標として示された「2050年カーボンニュートラル」を達成していくうえでも温室効果ガス削減施策の更なる具体化・深度化が必要であり、かつ、トラックドライバー不足が深刻化する一方で、長時間労働を是正し働き方改革を進めるための大幅な生産性向上が必要不可欠となっている。

政府はこれら課題に対処する諸施策を強力に推進しており、荷主・物流企業においても5G通信の使用、AI・IOTを活用したデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進、モーダルシフトや共同配送等の様々な取り組みを加速させている。今後も二酸化炭素排出量が最も少なく、物流プラットフォームとしても有効な鉄道貨物輸送の役割は益々重要になると見込まれる。

当協会ではこの流れを的確にとらえ、「国民生活に不可欠な物資の安定供給」「地球環境の保全」という二つの公益に資するため、鉄道貨物輸送のもつ安定性、安全性、環境性能等の特性や長所について調査・研究し、広く国民全体にこれらを普及・啓発していく取り組みを引き続き推進してまいります。主な活動は、以下の通りです。

1. 本部委員会活動

令和3年度の本部委員会は、令和2年度に引き続き「利用促進委員会」、「輸送品質向上委員会」の2委員会構成とし、活発な委員会活動を推進してまいります。併せて環境問題についても両委員会において、当協会の基本活動である「エコルールマーク事業」と連携して積極的に取り組んでまいります。

委員会審議テーマにつきましては、荷主企業会員皆様の声を反映させるなかで、利用促進委員会2テーマ、輸送品質向上委員会2テーマを選定し、委員会活動を進めてまいります。

(1) 「利用促進委員会」2テーマ

① 年間テーマ

『鉄道コンテナ輸送におけるパレット化の推進等各種環境変化に対応した施策の検討および提案』

② サブテーマ

『31ftコンテナ利用の現状の把握と利用促進策の検討』

(2) 「輸送品質向上委員会」2テーマ

① 年間テーマ

『鉄道コンテナの輸送品質向上に向けた貨物事故防止対策に関する調査研究と提案Ⅲ』

② サブテーマ

『防振装置搭載鉄道コンテナの実用化に向けた検証調査Ⅱ』

なお、令和2年度本部委員会報告書を、鉄道貨物輸送の認知度向上と利用促進を図る目的で、広く全国の国公立等の図書館及び各都道府県、関係市町村に対し寄贈いたします。現在は平成25年度から令和元年度までの7年間分の本部委員会報告書が当協会ホームページにて閲覧できるようになっていますが、2年度分についても掲載予定であります。

2. 「エコレールマーク」の普及

令和3年度のエコレールマーク普及推進の取り組みとしては、これまでの活動の充実を図るとともに、以下の活動に重点を置いて取り組んでまいります。

(1) エコレールマーク認定件数の拡大

エコレールマーク事業の基盤を強固にするために、協賛企業と連携し認定企業のフォローを着実に行うとともに、新規認定については、中・長期目標として400件を目指しつつ、年度目標を総認定件数350件(うち、取組認定企業100件)と定め早期の実現に向け取り組みます。

(2) エコレールマークの利用拡大

消費者の目に触れる商品はもとより企業の方々が目にする会社案内、名刺等も含めエコレールマークが広まっていくことが認知度の向上・理解に繋がります。認定企業の皆様に対して、マークの利用拡大を積極的に働きかけてまいります。

(3) 「エコレールマーク出張型教室」の実施

少子高齢化と労働力不足が急速に進む我が国において、次世代にエコレールマークを理解して頂くことが一層大切となります。近年、多くの教育現場が授業に取入れているSDGs(持続可能な開発目標)との関係にも触れながら本部、支部共に連携しあい、多くの箇所、新たな地域での実施に引き続き取り組んでまいります。

(4) 各種環境展等への出展、参加

各種環境展及び鉄道関連イベント等に、効果的な出展方法を検討しつつ引き続き積極的に参加することにより、鉄道貨物輸送とエコレールマークの認知度向上に努めます。

(5) 大型小売店舗等での周知活動

多くの消費者が訪れる大型小売店舗等において認定企業の協力も得つつ機会を捉えてエコレールマークと認定商品を紹介し、消費者に直接エコレールマーク事業をアピールしてまいります。

3. 支部活動の活性化と充実

各支部にあっては、協会を構成する三者(荷主企業等・利用運送事業者・鉄道事業者)を主軸として、以下の活動に重点を置いて活性化と充実に努める中で、広く消費者や企業への働きかけも積極的に行い、地域経済の発展、地球環境負荷の低減に寄与すべく活動を推進してまいります。

また、本部としましては支部におけるイベントへの参加、出展等が一層積極的に展開されるよう支援の充実と連携を図ってまいります。

(1) 地域に即した「利用促進会議」との連携強化

各地域における鉄道貨物輸送の利用促進や輸送品質向上に関する身近な課題を継続的に検討する場として、引き続き活発に開催してまいります。本部も、その一層の充実が図られるよう積極的に出席すると共に、本部委員会である「利用促進委員会」「輸送品質向上委員会」の活動成果の啓発にも努める等により積極的に連携してまいります。

(2) 「エコレールマーク」の普及に向けた取組み

各地域における各種環境展等への出展、各支部主催の諸会議などを通じて「エコレールマーク」事業及び認定企業並びに活動状況を紹介することにより、認知度の向上を図ります。また、支部から会員各社を含めエコレールマーク事業参加及び教育機関への出張型教室開催を引き続き積極的に働きかけてまいります。

(3) 物流施設及び企業見学会の開催

鉄道貨物輸送の認知度の向上や利用促進、会員等各社の今後の業務に役立てていただくこと、会員等相互の情報交換の場として活用していただくこと等を目的とし、貨物駅や各社の物流施設、製造工場などの見学会を引き続き開催します。

(4) 鉄道コンテナ基礎知識等に関する講習会等の開催

鉄道貨物輸送に携わる実務者からの座学講習や実地にコンテナに触れていただく等の機会を設けることで、物流関係者に理解を深めていただき、鉄道貨物輸送の利用促進につなげてまいります。

(5) 講演会、セミナーの開催

各地域の皆さまに環境にやさしい鉄道貨物輸送をより身近に感じていただき、また広く鉄道貨物協会を知っていただくことを目的に、有識者による講演会やセミナー等を開催してまいります。なお、開催について協会ホームページ等で一般に周知してまいります。

4. 「マンスリーかもつ」(JR貨物との共同編集誌)の発行

「マンスリーかもつ」は、会員への情報を提供する媒体としての役割のみならず、公益実現に向けた当協会の諸活動を広く知っていただき、鉄道貨物輸送の利用を促進するという使命を担っています。下記の内容を始めとし、一層広く社会へアピールできる誌面づくりに努め、発行を継続してまいります。

- ① 本部委員会活動を一般へ幅広く紹介
- ② エコレールマーク認知度向上のためのPR
- ③ 地域社会に根ざした支部活動の紹介
- ④ 鉄道貨物輸送の応援団である会員企業等の紹介 等

5. 貨物時刻表の発行

貨物時刻表は、列車運転時刻のご案内だけでなく、当協会の公益法人としての活動や鉄道貨物輸送の実態をいろいろな角度から紹介し、鉄道貨物輸送を広く国民の皆様を知っていただくための有力な広報媒体でもあります。これまでに鉄道ファンをはじめ多くのお客様から、「分かりやすく面白い」というお話をいただいております。

「2021貨物時刻表」は、2021年3月ダイヤ改正後の最新の時刻を詳細に掲載しているほか、鉄道ファンだけでなく一般の方々にも楽しんで頂けるよう、巻頭カラーページの企画に工夫を凝らしております。書店・

鉄道イベント等での販売や図書館等への寄贈を通じ、鉄道貨物輸送の認知度向上に努めてまいります。

6. 会員等増加運動の推進

環境負荷が少なく国民の生活物資を大量に安定供給できる鉄道貨物輸送の利用を推進する応援団を幅広く増やすために、積極的に各種環境展、鉄道関連イベント等に出展すること等を通じ、鉄道貨物協会の認知度向上と会員等増加に取り組んでまいります。

7. 本部表彰

協会事業の発展に功績のあった方並びに鉄道貨物輸送に貢献された方などを対象として、定時社員総会において、協会事業協力者表彰と鉄道貨物輸送功労者表彰の本部表彰を行います。

8. 本部主催会議の予定

(1) 第10回常任委員会	4/8	如水会館
(2) 第35回理事会	4/22	如水会館
(3) 令和3年度定時社員総会	5/24	如水会館
(4) 第36回理事会	5/24	如水会館
(5) 令和3年度全国事務局会議	7/9	未定
(6) 第37回理事会及び評議員・支部長合同会議	11/15	如水会館
(7) 本部委員会(利用促進・輸送品質向上)	各年8回	協会本部等
(8) 委員長・副委員長懇談会	12/中旬	協会本部
(9) 本部合同委員会	3/中旬	日本通運
(10) エコレールマーク運営・審査委員会	年2回程度	協会本部等
(11) 令和3年度幹事長・事務局長会議	3/中旬	如水会館
(12) 第38回理事会	3/中旬	書面開催
(13) 会誌「マンスリーかもつ」編集委員会	月1回	JR貨物・協会本部

以上